

# もも管理特報 No. 1

令和2年3月4日  
 みな穂もも研究会  
 みな穂農業協同組合  
 新川農林振興センター

## ○3月（休眠期～発芽期）の作業チェック表

作業内容	作業のポイント	実施適期	実施予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
休眠期せん定の完了	・ 第1回目防除前までに完了する	3/10頃まで		
ほ場の排水性見直し (排水路の手直し)	・ 園地内で雨水が数日溜まる箇所は心土破碎等の実施や、排水路を整備する	発芽前まで		
防除の実施 (石灰硫黄合剤)	・ かけムラのないよう散布 ・ 縮葉病多発園地は2回散布する	発芽前 3/15頃まで		
苗木の定植	・ 苗木到着後速やかに実施	発芽前まで		
摘蕾	・ 慣行は70～80%程度、富山型もも栽培体系は90%摘蕾する ※ 花粉のない品種（川中島白桃等）は上向きの蕾を軽く落とす程度とする	3月中旬～		

## 1 生育状況について

- ・ 3/2時点の「あかつき」の開花始めは、平年より3日早い4/8頃と予想される。
- ・ 新潟気象台発表の3か月予想（2/25）では3月の気温は高い、4月の気温は平年並みか高い、1か月予報（2/27）では向こう1か月の気温は高いと予想されており、開花時期がさらに早まる可能性がある。
- ・ そのため、今後の気温や生育状況に注意し、計画的な作業に努める。  
 ※開花予想は、富山県園芸研究所ホームページで公開しています。参考にしてください。  
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/>

果樹研究センター開花予想（3/2時点）

年次	あかつき	
	開花始期	開花盛期
2020年（予測）	4/8	-
2019年	4/7	4/12
平年	4/11	4/14

## 2 病虫害防除について

### （1）薬剤防除

- ・ 今後の気温が高く推移することが予想されていることから、速やかにせん定作業を終了し、下記の通り縮葉病対策の防除を実施する。
- ・ 散布にあたってはかけムラのないよう注意する。

回数	散布時期	対象病虫害	薬剤名と希釈倍率	100 <sup>リットル</sup> 当たり薬剤量	10aあたり散布量	防除実施日 (自己記入)
1	3月15日頃まで (発芽前)	縮葉病 <sup>※1</sup>	石灰硫黄合剤 または ホームイコート <sup>※2</sup> 展着剤 マイリノー	7倍 50倍 20,000倍	14 <sup>リットル</sup> 2,000g 5cc	300 <sup>リットル</sup>

※1：これらの剤を発芽前までに散布できなかつた場合は、縮葉病対策として、ドキリンフロアブル（800倍 発芽前～開花直前まで 5回以内）を散布する。

※2：石灰硫黄合剤による肌のかぶれや、器具の損傷が激しい場合はホームイコートを利用する。ただしホームイコートは、胴枯病、黒星病、越冬病害虫に対して登録がない。

## 2 摘蕾（富山型モモ栽培体系）について

### (1) 概要

- ・富山型モモ栽培体系とは、3～4月に全花蕾の90%を除去する着果制限を行い、予備摘果作業を省略した栽培体系。
- ・①一発強摘蕾、②摘蕾+摘花、③早期摘果、④粗摘蕾+仕上げ摘蕾の4つの技術を組み合わせることで、各経営体に適した着果管理技術が選択でき、作業時間の平準化と慣行栽培に比べ1～3割程度の省力化が可能となる。

#### 【富山型モモ栽培体系】

栽培体系		月/旬		3月			4月			5月	6月
		中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬		
富山型 モモ 栽培体系	① 一発強摘蕾			摘蕾 90%							仕上げ 摘果
	② 摘蕾+摘花			摘蕾 70~80%		摘花 90%					
	③ 早期摘果			摘蕾 70~80%			摘果 90%				
	④ 粗摘蕾+ 仕上げ摘蕾	摘蕾 90%		見 直 し							
慣行 栽培体系			摘蕾 70~80%					予備 摘果			

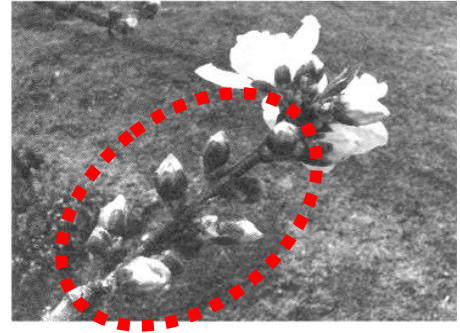
#### 【結果枝別の残す花蕾（果実）の数と位置（果樹研セ作成）】

栽培体系	残す花蕾（果実） 1個あたりの枝 の長さ(cm/個)	結果枝の種類(果枝長cm)		
		短果枝 (15cm未満)	中果枝 (15~30cm)	長果枝 (30cm以上)
富山型 モモ 栽培体系	15	先端付近に1個	中央部に1~2個	中央部に3~4個
慣行 栽培体系	8	先端付近に1~2個	中央部に2~3個	中央部に4~8個

○ は残した花蕾。

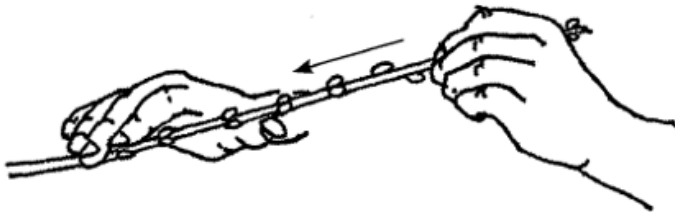
## (2) 摘蕾の適期

- ・作業適期の蕾の状態は、花芽の赤い色が少し見え始めた頃から風船状になるまでの期間。
- ・粗摘蕾+仕上げ摘蕾を実施する場合は、3月中旬頃から粗摘蕾を実施する。



## (3) 摘蕾の方法

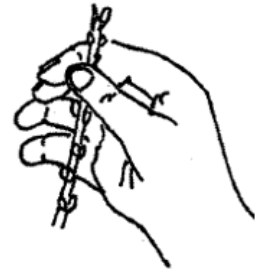
### ①長果枝、中果枝



- ・枝の上部を中指、人差し指で枝の先端から基部に向かってしごき落とす。



### ②短果枝



- ・指先でもむように落とす。



- ・一発強摘蕾、仕上げ摘蕾、摘花を行う場合は、枝 15cm に花蕾 1 個となるようにする。

## (4) 注意点

- ・「川中島白桃」「なつき」等、花粉を持たない品種に、富山型モモ栽培体系は適用しない。花粉を持たない品種は、慣行栽培でも軽め（50%程度）に摘蕾する。
- ・幼木は生理落果が多くなるおそれがあるため、富山型モモ栽培体系は、成木（8年生以上）で実施する。
- ・葉芽を傷つけないように注意する。
- ・1～2年目の苗木、成木（8年生以上）の主枝や垂主枝先端、伸ばしたい枝の先端50cm程度は、すべて摘蕾する。
- ・上向きや真下向きの蕾を中心に摘蕾し、横～斜め下向きの蕾を残す。
- ・成木園10aを1人で一発強摘蕾する場合、約44時間要することから、予め確保できる人数、日数に合わせた作業計画を立てる。

### 【1haを常時3人で作業した場合の作業計画の例】

3月		4月													
11～20	21～31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
粗摘蕾 80a		仕上げ摘蕾 42.4a							摘花 37.6a						
		普通摘蕾 20a												摘花 20a	